特殊現場向けの土木架線工法

事業内容　総合工事業

主要製品　薪割機

従　　来

特殊現場での課題

作業道を整備する場合
- ◎施工コストアップ
- ◎環境破壊
- ◎工期の長期化
  （路網整備の為）

作業道路を整備しない場合
- ◎特殊車両のリースが必要
- ◎リース設備の為、天候による工期の長期化環境破壊

※主な設備として大型クレーン車やヘリコプターなどを活用

特殊現場とは
- 路網整備が整っていない現場
- 重機の搬入が不可能な現場
- 急傾斜地での現場

新技術・新工法

特　徴

土木架線とは	架線とは、空中にワイヤーを架け、集材機や自走式搬器などを動力として貨物等を輸送する設備のことをいいます。
架線工法によるメリット	●現場までの大掛かりな作業道が必要ない。 ●資材の輸送だけでなく重機等の輸送も可能。 ●一度設置を行えば常に活用する事ができる。 ●最大重量3tまでの重量物の輸送が可能。 ●設置・撤去作業も短期間で施工が可能。

適用例

弊社では

どんな場所へもどんな資材も輸送可能です。ヘリコプターで困難な時も索道なら天候に左右されず安心な工程で進みます。
サポート体制も充実、資材や機械の運搬方法を経験豊富な職員がご相談にのり、解りやすくご説明いたします。

架線技術の継承と新たな技術を生かし特殊現場の
「コストダウンと環境保護を目指した工法」を行っています。

提案の狙い
- ☑ 原価低減
- ☐ 質量低減
- ☑ 生産（作業）性向上
- ☑ 品質／性能向上
- ☑ 安全／環境対策
- ☐ その他

適用可能な製品・分野
各種土木現場

主要取引先
官公庁他

海外対応
☑ 可　☐ 否

製造可能な精度・材質等
- 生産効率の向上
- 操作性の改善
- 環境対応性の向上
- 工期短縮によるコストダウン

課題と対応方法
課題
現場によっては大型クレーンを活用した施工方法がメリットが出る場合もあり。

対応方法
施工現場の確認と工事費用の積算より提案を行う。

パテント有無
☐ 有　☑ 無

従来との比較
コスト
DOWN
生産・作業性
UP

西川建設株式会社
☎ 088-893-1023　088-893-5202
〒781-2136　高知県吾川郡いの町鹿敷1379番地1
http://www.nishigawa.net/
nishigawa@guitar.ocn.ne.jp
HP

代表者：西川 健二　■資本金：4,200万円　■設立年月日：1974（昭和49）年11月1日　■売上：3,000万円　■従業員数：15人